



申1号 第44回定期大会発言等に基づく申し入れ 1月13日 第1回団体交渉を行う! ②

●各系統での融合と連携が加速しているため、教育・訓練での変化点などあるのか。

■【駅】目的に合わせた手法を職場ごとに考えて、机上か現地で行うべきもののかなど、教育する目的を見失わないようにしている【運車】新人教育はこれまで通り総研で実施する。車両は新系列増えているため、マニュアルに落とし込むなど実態に近いものを準備していく【設備】職場が離れている箇所もあるので、ツールを活用していく。現物を見て実地訓練もしている【電気】異常時には様々な系統が現地に来る。パートナー会社含めて机上・実地で訓練して行動できるようにしている。

●融合と連携が進み、「人となり」に留まらず、安全管理等のマネジメントを確実に実行し、習熟度合いを見える化するべきだ!

■業務の習熟の見える化はマネジメントする場合でも重要である。共有の仕方は工夫が必要であるが、よりよい方策を見つけていく。

4. 雪害時における鉄道敷地内での除雪作業等を指示する場合については、事前に十分な教育を行うこと。また、除雪作業等に使用する作業着や防寒着等の用具・備品を整備すること。

●組合 ■会社

●除雪作業を行うにあたり、安全を第一にして、誰がどのような除雪作業を行うのか、注意すべき点は何かなどを作業前に教育すべきだ!



■駅などの勉強会において、触車事故防止の教育等は実施している。雪のため音が吸収されるなどの注意すべきことがある。

●除雪作業をする前段で、各社員が担う役割と除雪する範囲を明確にすることが重要であることを確認!

●会津若松での除雪作業では、会社から貸与された、カッパ・アノラック・長靴のサイズが合わない現実、穴が空いた長靴や防水機能がない水がしみる手袋が貸与されたなど、不十分であり除雪には不適用な用具であり欠陥品が貸与された現実だ! 組合員個人で用意した用具を身につけて除雪を行っている! 昨年の現実を踏まえて、各現場において、一定のサイズを一定数保管するべきだ!



■急遽行う除雪作業に対して、全員分のサイズを手配することは難しいが、不足することは少なくしなければならない。会社が用意した用具類が不足した場合には代替品で出来ないのかなどを検討していく。

●各職場において、必要な用具や備品類を事前に把握して準備していく。各社員に対して一定の貸与が出来るように会社として準備していくことを確認!

●除雪中の食事や休憩時間などしっかりとれる除雪体制とすること。



■食事など事前に準備できることは行っていく。

●食事や休憩時間など、作業に集中できる環境を整えていくことを確認!